



## 歴史

やんごとなき方のお宿拝見。

あんざいしよ  
“行在所”とは、天皇が外出された時の仮の御所のことをいいます。

この建物は中山道大井宿の中でも大規模な旅籠だったところで、建築資材などの商いも営まれていました。

江戸時代の終わりごろには屋号を「いけだ屋」とし、当主の伊藤弥兵衛が大井村の庄屋や宿場の役人をつとめていました。

明治に入ってから村会議員となり、学校建設にも尽力しました。

明治13(1880)年6月に明治天皇が御巡幸の折、伊藤家にお泊りになることとなり、急遽隣を譲り受け、三間続きの部屋や風呂、畳敷きの便所が新たに作られました。

明治42(1909)年、家の所有者が岩井家へと変わり、第二次世界大戦後は、主屋の一部が郵便局の分室や学習塾として利用され、その都度改築されました。現在は、明治天皇がお泊りになられた当時の状態に復元され、地域の方たちが利用できる交流の場として生まれ変わりました。

## 大井宿の宝“枡形”がお出迎え

宿場は沢山あれど、6つもの枡形をもつ宿場は珍しい！

※枡形：道が直角に曲がったところを枡形といいます。



「中山道分間延絵図大井」1806(文化3)年より



### 【交通案内】

- JR中央本線恵那駅下車 徒歩5分
- 中央自動車道恵那ICから車で10分
- 駐車場 12台有

### 【ご利用案内】

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 火曜日(祝日を除く)、年末年始等 ※火曜日が祝日の場合は翌日
- 入館料 無料
- 貸室使用料 詳しくはお問合せください。

行在所：〒509-7201 岐阜県恵那市大井町80番地1  
TEL 0573-25-7101

問合せ  
恵那市教育委員会：〒509-7292 岐阜県恵那市長島町一丁目1-1  
生涯学習課 TEL 0573-26-2111(代)

中山道大井宿

岐阜県恵那市

# 明治天皇 大井行在所





### 【長屋門】

大井宿本陣の表門の北にあった門とされていますが、明治になって本陣制度が廃止された際に、古屋家が譲り受け、古屋家の裏門になっていました。

一説には、大きくて立派な門なので岩村城廃城の折、城の門が移築されたとも言われており、謎が残る門です。

建築年代は、門の飾り金具などから、江戸前期まで遡ることができます。移築元から門部分を切り取り設置されたことが調査で判明しました。

今回も行在所横に設けた長屋に主要部分を移設しています。

### 【御座所/ 天皇がお泊りになった座敷】

明治13(1880)年6月、明治天皇が御巡幸の折に宿泊された部屋です。大正14(1925)年に発行された『岐阜縣御巡幸誌』によると“白紙を以って四壁を張る”とあり、現在は白紙を張った部屋に復元されています。

奥には風呂、畳敷きの便所などが今も残っており、明治天皇がお泊りになった当時のたたずまいをご覧ください。

御座所 / 明治天皇が泊まれた座敷。欄間が見事



### 【交流スペースの利用について】

御座所以外の和室が利用可能です。地域の方たちが気軽に集える場所としてご活用ください。

### 【使用料】 \*事前予約が必要です

- ◆使用者が恵那市民の場合は無料
- ◆使用者が恵那市外の方の場合は有料  
1時間あたり1,800円・冷暖房費別途
- ◆使用者が営利目的の場合は、上記の1.5倍(冷暖房費除く)



### 明治天皇のために設けられた風呂場と畳敷きの便所



風呂は浴槽に湯を汲み入れて使用します。  
便所は砂を敷いた引き出し式で、便の状態で侍医がその日の健康状態を調べました。

